

2025 年 7 月
NEC キャピタルソリューション株式会社

わくわく子どもの池プロジェクト活動報告 葛飾区立北野小学校（2025 年 5 月活動）

2023 年に北野小学校で造成したビオトープに、東京都の絶滅危惧種のアズマヒキガエルが生息しているとの連絡がありました。アズマヒキガエルはニホンヒキガエルの亜種で、乾燥に比較的強く、繁殖期以外は、小さな緑地をすみかとしています。

今回、小学 4 年生 3 クラスの子どもたちにアズマヒキガエルについての授業を行いました。



北野小学校のアズマヒキガエル。変態直後のため 1cm 程度。4-16cm まで成長します。

アズマヒキガエルの授業（2025 年 5 月 27 日 オンライン）

小学 4 年生 3 クラスの子どもたちがオンライン授業で、飯島先生からアズマヒキガエルとお話しする方法について学びました。

アズマヒキガエルの体をよく見てみると歩きにくそうな足の形をしているのが分かります。色は茶色です。

「アズマヒキガエルがどこから学校の池に来たのか、地図を見て調べてみると新しい発見があるかもしれないよ。色が茶色なのは、すみかについて考えてみて。」と飯島先生。

池で生まれたオタマジャクシは、成長して小さなカエルになると、夏が来る前の雨が降る夜に池を出て、周囲の森にお引越します。お腹から湿った地面の土の水分を吸収しているので、水辺がなくても生きることができるそうです。

アズマヒキガエルは乾燥に強いので、街の中でも生きていける体質です。雨が降らないと日陰の石の下で休み、日照りが続くと土の下に穴を掘って寝て、1カ月くらい過ごすことも。よく食べ、よく寝る、無理しない生活であることから体が大きく、長生きします。

子どもたちから「アズマヒキガエルは卵をどれくらい産むの？」との質問がありました。「たくさん産みます。1匹のメスがおおよそ4,000-8,000個の卵を産みますが、大人になれるのは1-2匹。大半は食べられたり、乾燥してしまったりします。」と飯島先生が回答。

これからもアズマヒキガエルが戻ってきてくれるビオトープが維持できるといいですね。



以上